

「艦艇勤務一本から広報官へ」新人紹介



力強くポーズをとる廣森 1 曹

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 1 陸尉）は今春の定期異動で転入してきた新人広報官を紹介する。新人といっても護衛艦乗組員として何十年も勤務してきた自衛官としてはベテランの廣森 1 等海曹である。これまで護衛艦「ひゅうが」をはじめとして、7 隻の護衛艦の機関科でガスタービン員として長年活躍してきた。入隊した頃は船酔いで大変だったと言いつつ、とにかく食べるものをつかり食べて克服し、いつの間にか酔わない体質になっていたという。過去を振り返ると「テロ対策特別措置法でインド洋に派遣され、無事に任務終了後、帰路の最中にスマトラ沖地震が起きて国際緊急援助隊員として急遽タイに派遣され、また東日本大震災においては45日間もの長期にわたり災害派遣活動を行うなど、長い期間家族と会えないのは辛かったものの、とても貴重な経験ができた人の役に立つという誇れる仕事できて満足だ」と語り、他の仕事も経験したいと広報官を希望し神奈川地本に転入した。早速、着隊業務や学校訪問など積極的に行動し即戦力となっている。今後は、「これまでに自衛隊にお世話になったので、恩返しをする気持ちで募集広報業務に望みたい」と力強く抱負を語ってくれた。

横浜中央募集案内所は「これまでの護衛艦での経験をフルに活かし、国防に情熱を持った若い対象者を一人でも多く入隊に導けるよう、頑張ってもらいたい」と期待を寄せている。

「高等工科学校生活がんばります！」



式の様子



梨本学生



中山学生 辻学生

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木 3 陸佐）は、4月7日（火）陸上自衛隊高等工科学校入校式において上大岡募集案内所から入校した3名の生徒を激励した。

今年度の入校式は新型コロナウイルスの影響で来賓、生徒家族が参加出来ない状況で執り行われたが、3名とも一週間前の普通の中学生から自衛隊生徒の顔つきに変貌し、制服姿も凛々しく「学校生活がんばります！」と意気込みを語っていた。

上大岡募集案内所は「今後も入校生徒の成長を見守り、生徒家族との連携も強化し自衛隊への理解、協力体制の拡充を図っていききたい」としている。